

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月18日

Table with columns for 事務事業名, 産後ケア事業, 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (事務事業No., 所属課, 課長名, グループ, 担当者名), 予算科目, 法令根拠, etc.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 02年度(実績), 03年度(実績), 04年度(計画), 05年度(目標), 06年度(目標)

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with 7 columns: 02年度(実績), 03年度(実績), 04年度(計画), 05年度(目標), 06年度(目標), 期間限定総投入量

Table with 4 columns: 03年度事業費実績(千円), 04年度事業費予算(千円), 合計

事務事業名	産後ケア事業	事務事業No.	10203001025	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
社会情勢の変化、核家族の増加、地域のつながりの希薄化等、妊産婦にかかる負担が増え、要支援妊産婦が増加しているため。対象が産後4か月未満であったが、令和3年度より産後1年未満に変更。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
妊娠中から周知することで、サポート体制に安心するという声や出産後の生活で心身の不調が出現した際に、産後ケアを利用できたことで育児不安や負担が軽減したとの声が聞かれた。また利用料金の助成もありがたい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子育て支援施策の一端であり、産婦の育児不安の軽減は虐待防止にも結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法、児童虐待防止法、次世代育成支援対策事業の一環として市で行う必要がある。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 利便性を考慮し、利用できる施設を拡充（宿泊型・訪問型・日帰り型）することで、成果の向上の余地はある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 育児不安や負担が増えることで、一貫した母子の健康管理・保持増進ができない恐れがある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似の事業がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内に住所がある、産後1年未満の全産婦を対象としているので適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	R3年度も感染対策の関係で利用できない施設もあったが、利用者数は増加。母子手帳交付時、後期妊婦面接時等妊娠中より周知したことで、特に必要性を感じる要支援妊婦に関しては、妊娠中から産後ケアの調整を行ない、スムーズな利用につなげられた。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下			
成果	向上													
	維持			○										
	低下													
利用できる施設の拡充や訪問型サービスの利用を勧める等、制限がある中でも利用できるような体制は整えていく必要がある。	(6) 事務事業優先度評価結果													
	成果優先度評価結果 ②													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>